

5月13日(月) 朝会のお話

いよいよ三社祭

おはようございます。

いよいよ三社祭が近づいてきました。

この三社祭は、東京最大のお祭りのひとつに数えられ、お祭りの時には浅草に200万人もの人が来ると言われています。

前回もお話しましたが、この浅草の地で、たくさんの伝統行事にチャレンジしていきましょうね。

さて、その三社祭にちなんで、5月17日(金)に「地域文化を学ぶ会」を実施します。「三社祭がどのようにして生まれたのか?」「いつ頃から始まったのか?」「御神輿はどのようにになっているのか?」等、皆さんの先輩方に来ていただき、お話を伺う予定です。

もしかしたら、質問の時間もあるかもしれません。自分で知りたいこと、聞いてみたいことがあったら、積極的に聞いてみましょう。

校長先生は、この三社祭をとっても楽しみにしています。

まずは、「びんざさら舞」というものを楽しみにしています。これは、三社祭で催される五穀豊穡を祈願して行われる舞のことです。

田植行事を芸能化したもので、鎌倉時代から室町時代にかけて大流行した田楽の一種です。行列の人々は、派手な衣装を着て、びんざさらを摺り 鼓を打ちながらさまざまな音を出し、豊作や悪霊退散を願って踊るものです。

チャンスがあったら、見てくださいね。





もう一つの楽しみは、町内神輿連合渡御(ちょうないみこしれんごうとぎよ)です。

浅草氏子 44ヶ町の町内神輿約 100 基の渡御になります。

浅草小学校でも保護者の皆様や地域の皆様、花川戸壺丁目町会の皆様のご協力で、御神輿を担ぎます。

今年は 100 名以上の参加があります。

浅草ならではのこの行事をしっかりと経験し、自分たちが引き継いでいけるよう頑張りましょう。

最後にこの T シャツを見てください。
これは、去年の三社祭の様子です。
さあ、いったいどんな写真でしょうか？
校長先生は、奇跡の一枚だと思っています。
玄関に飾っておくので、ぜひ見てください。

これで朝会のお話を終わります。

